

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	H17.3.22～	根拠法令・例規等	休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金 交付要綱、水質汚濁防止法	
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室)	環境課	
	中項目 基本施策	02	自然と共生するまちづくり			
	小項目 施策	01	環境保全			
事務事業名		02	休廃止鉱山鉱害防止事業	合 先 職・氏名	保全係長・久保山仁也	
				電 話	64-1822	
					このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	金剛川、八塔寺川、和意谷川の水を利用する吉永地域及び三石地区の市民・事業者	事業の目的、 対象、内容を 考えながら妥 当性を評価
目的 (何のために)	鉱害防止を目的として農作物への被害防止や生活環境の保全を図るため。	
事業の意図する成果 (どのような状態に したいのか)	金剛川、八塔寺川、和意谷川の水質を保全し環境基準を達成する。	

事業の実績			Do
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	坑廃水処理事業	板屋・金谷・野谷の坑廃水処理場で中和処理を行い、河川の水質保全を図る。	◎

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	
	事業費	直接事業費	千円	53,122	76,950	51,013	
	必要人員	人件費	千円	4.19人	29,584	6.10人	
	事業費	費	千円	82,706	112,640	89,770	
	財源	国	支出金	千円	56,964	71,298	58,028
		受	益者負担		819	757	306
		繰	入金				
		市	債				
		その他()					
		一	般財源		24,923	40,585	31,436
	受	益者負担比率	%	1.0%	0.7%	0.3%	
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
結果指標	結果指標量	m	164,912	261,266	257,100		
	対前年比	%	-	158.4%	98.4%		
	活動コスト	円	82,706,240	112,640,305	89,770,435		
	単位当たりコスト		502	431	349		

事業の成果						(平成24年度事業)
環境基準内達成率	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
		目標値(A)	1	1	1	1
		実績値(B)	0.972	0.972	0.988	到達目標値
	達成率(B/A)		97.20%	97.20%	98.80%	1
成果指標設定の考え方・式や説明						
3処理場において、坑廃水を安定した中和処理を行い、環境基準を超過することのないように事業を実施する。 (月1回処理場の処理水を採水し、鉄、浮遊物質、鉛、ヒ素を分析している)						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度			B

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	各処理場の設備は新しい施設でも建設から十数年経過し、老朽化が進んでおり、修繕・改修の必要性がある。野谷坑廃水処理場の大規模改修工事を国と協議しながら計画的に進める。						

総合評価		総合評価
老朽化した野谷坑廃水処理場の改修工事に向け、効率・効果・必要性をよく協議・精査し、準備を進めていく。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	常に安定した坑廃水の中和処理を実施できているが、この処理は半永久的にしなければならず、施設の更新、修繕を計画的に実施し、各河川の水質を保持する。						



事業の目的やその数値目標
である成果指標に留意しな